

## R3年8月放送分

### 「オリンピックと自衛隊について」 (日本の防衛Q & A) (自衛隊百科)

R3. 7. 27 収録

#### 【パーソナリティー】

本日は、本年7月、東北防衛局長に着任されました市川道夫局長からお話を伺います。

市川局長、よろしくお願ひします。

#### 【局長】

東北防衛局長の市川です。東北での勤務は初めてになりますが、よろしくお願ひします。

#### 【パーソナリティー】

東京オリンピックが開幕しましたね。今回は、そのオリンピックと自衛隊の関わりについてお話を聞いていこうと思います。

#### 【局長】

はい。オリンピックと自衛隊について、まず、1964年、つまり前回の東京オリンピックを振り返ってみたいと思います。前回の東京オリンピックの開会式では、ブルーインパルスが東京の空に、オリンピックの五輪のマークを描いたり、自衛隊の音楽隊が、オリンピック・マーチやファンファーレを演奏したりしました。何かの映像で見た、という方もおられるのではないのでしょうか。

また、前回の東京オリンピックでは、選手として自衛官が大変活躍しました。齋藤さんは、どなたか知っている自衛官の選手はいますか。

#### 【パーソナリティー】

(自由回答)

#### 【局長】

例えば、ウェイトリフティングの三宅義信(みやけ よしのぶ)選手やマラソンの円谷幸吉(つぶらや こうきち)選手です。お二人とも当時、

陸上自衛官でした。三宅選手は金メダルをとりましたし、円谷選手は、銅メダルを獲得しました。

この東京オリンピックを始めとして、これまでのオリンピックで、自衛官の選手は、7種目の競技で合計20個のメダルを獲得してきましたが、この20個のメダルを獲得した7種目のうち、最も多くのメダルを獲得してきた種目は何だと思えますか。

**【パーソナリティー】**

(自由回答)

**【局長】**

(コメント)

過去、レスリング競技で、金メダル5個、銀メダル4個、銅メダル3個の合計12個のメダルを獲得しています。

このように自衛隊は、ブルーインパルスなどによる大会運営への協力と、選手の派遣の両方において、オリンピックと関わりを持ってきました。

**【パーソナリティー】**

東京オリンピックでは、自衛隊は大会運営と選手派遣の両方において協力を行ったのですね。そもそもどうして自衛隊がオリンピックに協力するのでしょうか。

**【局長】**

自衛隊がオリンピックに協力する根拠ですが、「自衛隊法」という法律で、オリンピックへの協力は、自衛隊の任務として行うとされているからです。この自衛隊法では、有事における防衛出動や、自然災害などで自衛隊が活動する「災害派遣活動」なども、自衛隊の任務として規定しています。ちなみに齋藤さん。自衛隊が行うこととされているスポーツ大会への協力について、オリンピックのほかに何か思いつくものはありますか。

**【パーソナリティー】**

(自由回答)

**【局長】**

(コメント)

**【パーソナリティー】**

オリンピックでの協力も防衛出動や災害派遣と同様、自衛隊の任務にあたるのですね。今回の東京オリンピックでの自衛隊の協力は、例えば、セキュリティの面での協力を行っているのですか。

**【局長】**

はい。セキュリティ対策は、基本的には、警察が中心となって実施していますが、例えば、日本上空の監視ですとか、競技会場でのセキュリティーチェックの支援ですとか、サイバー攻撃への対処といった面では、自衛隊も警察や大会組織委員会などさまざまな機関と連携しながら協力を行っています。

**【パーソナリティー】**

オリンピックが無事終了するためにも多機関連携は必要となってきますね。セキュリティ以外では、どのような協力を行っていますか。

**【局長】**

大会運営への協力として、例えば、ライフル射撃においては、陸上自衛隊の朝霞駐屯地を競技会場として提供しています。このほか、セーリング競技では、海上救護なども行っており、これらの支援を実施するため、陸・海・空自衛隊の約8,500名の隊員による東京2020オリンピック・パラリンピック支援団を編成しています。

**【パーソナリティー】**

会場の提供も行っているのですね。ところで、今回のオリンピックは復興五輪と位置づけられています。防衛省・自衛隊としてどのような取組をされていますか。

**【局長】**

復興五輪という点ですが、昨年3月20日に、宮城県にある航空自衛隊松島基地で行われた聖火の到着式が挙げられます。ギリシャから航空機で運ばれた聖火は、まず、宮城県の松島基地に到着しました。その聖火の到着式では、自衛隊のアクロバット飛行チームのブルーインパルスが、聖火の到着をお祝いするための飛行を行いました。このときのブルーインパルスのパイロットは、東日本大震災で津波により甚大な被害を受けた岩手県山田町（やまだまち）出身の方でした。東日本大震災では、このブルー

インパルス基地である松島基地自体が2 mを超える津波により浸水し、大きな被害を受けました。その松島基地に、ギリシャから運ばれた聖火が到着し、聖火到着式を行えたことは、震災からの復興の一つの象徴となったのではないのでしょうか。

**【パーソナリティー】**

聖火到着式の様子は多くの方がニュース等で見たと思います。東日本大震災の際には多くの国や地域の方から支援をいただきました。今回のオリンピックで復興した東北そして日本の姿を世界にアピールしていきたいですね。

**【局長】**

そうですね。最初に、前回の東京オリンピックでの自衛官のオリンピック選手の活躍を紹介しましたが、今回の東京オリンピックには、自衛官選手17名が、レスリングやボクシングなどの競技において、日本代表として参加しています。自衛官選手をはじめ、出場する選手全員が日頃の成果を発揮し、ベストを出せるよう、応援したいと思います。

**【パーソナリティー】**

自衛官選手もメダル獲得を目指しているようなのでベストを尽くせるよう、私も応援します。

最後に、リスナーの方々に局長からのメッセージをお願いします。

**【局長】**

コロナ禍ではありますが、東京オリンピックがようやく開幕しました。是非、選手として活躍する自衛官選手を応援していただきたいと思いません。それと、大会の運営に協力する自衛官の姿も、ちらっとカメラに映ることもあろうかと思しますので、そこにも注目していただけたらと思います。

**【パーソナリティー】**

本日は、東北防衛局の市川局長にお話を伺いました。ありがとうございました。

**【局長】**

ありがとうございました。

**【パーソナリティー】**

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。